令和3年度 第2回 鴨川市立図書館協議会 会議録

1. 日時 令和3年11月12日(金)
開会:午後3時 閉会:午後4時20分
2. 場所 鴨川市立図書館 集会室
3. 出席委員 猪瀬 亮 委員 (学校教育関係者)
渡邊 真澄委員 (学校教育関係者)
石井 一司委員 (学校教育関係者)
高橋 和夫委員 (社会教育関係者)
川名 真理委員 (家庭教育の向上に資する者)
庄司 利男委員 (学識経験者)
4. 事務局 石川 丈夫 (生涯学習課長)
蒔苗 茂 (図書館長)
洲永 美奈子 (図書館主査)
5. 会議概要 別紙のとおり

1. 開会

(事務局 洲永)

本日は鴨川市立図書館協議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。本日の協議会議題までの進行を務めさせていただきます。生涯学習課図書館洲永です。よろしくお願いいたします。この会議は附属機関設置条例に基づき、開催されます。委員の過半数の出席がございましたので、本会議が成立することをご報告いたします。それではただいまより令和3年度第2回鴨川市立図書館協議会を開催致します。はじめに会長挨拶、庄司会長ご挨拶をお願いいたします。

2. 会長あいさつ

(庄司会長)

こんにちは。委員の皆さんのご協力により進めてまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

(事務局 洲永)

続きまして教育長あいさつ。鈴木教育長が急な公務で欠席となりましたため、石川生涯学習課長よりご挨拶申し上げます。

3. 教育長あいさつ

(事務局 石川課長)

皆さん、こんにちは。生涯学習課の石川です。本日は、急な公務により鈴木教育長が欠席となりました。皆様によりよくお伝えくださいとの事でした。それではあいさつを代読させていただきます。

本日はお忙しい中、鴨川市立図書館協議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、日頃から本市の社会教育に対しまして、ご指導ご協力をいただいておりますこと深く感謝申し上げます。教育委員会では、子供から大人までの生涯を通じ、総合的な教育の充実を図るため、様々な事業を展開しております。そうした中、市民の皆様が生涯を通じて利用して頂ける図書館の役割というものが、ますます重要性を増していることを実感しております。近年はインターネットの普及により、全国的に中高生のスマートフォンを使用する時間が増え、読書時間が減っている状況でございます。子どもの読書活動は言葉を学び、感性を磨き、人生をより深く、生きる力を身に付けていく上で、欠くことのできないものであります。千葉県では、読書県千葉の推進を掲げ、子ども達が自主的に読書に親しむことができる環境整備を進めております。また、乳幼児へ絵本をプレゼントするブックスタート事業や年齢に合わせたお話会の実施、小中学校への図書配本事業と、子どもたちの読書力の向上に取り組んでいるところでございます。この後事務局から今年度事業の中間報告や図書館運営の現状と課題について、ご説明をさせていただきます。鴨川市教育振興計画の目標に掲げております「共に学び、未来を育む教育文化のまち」の実現に向けた図書館を目指して、今後も努力を重ねてまいりたいと思います。本日は皆様の忌憚のないご意見をいただきますよう、よろしくお願いいたします。簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

4. 議題

(事務局 洲永)

それでは、議題に入ります。この会議は会長が議長となり進行することが定められております。庄司会長、進行についてよろしくお願いいたします。

(庄司会長)

それでは、会議を引き継ぎます。

会議に先立ちまして、会議の議事録署名人が必要となります。私から指名させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なしの声)

(庄司会長)

ありがとうございます。では令和3年度第2回の図書館協議会の会議録署名人に渡邊真澄委員を指名いたします。

(渡邊委員)

承知いたしました。

(庄司会長)

よろしくお願いいたします。では、会議次第に基づきまして進めていきます。

はじめに鴨川市立図書館事業中間報告について、事務局から説明をお願いいたします。

(事務局 洲永)

図書館より、令和3年度図書館事業中間報告をさせていただきます。

今年度は8月25日から9月21日まで緊急事態宣言に伴う休館があり、事業の縮小を余儀なくされておりました。7月下旬から9月中のイベントは全て中止、10月からは参加人数や実施時間について更に注意しながら慎重に実施してきました。

まずは幼児向けです。新規事業である外国語のお話会「世界の絵本を楽しもう」を英語版で6月に実施いたしました。参加人数25名で読み聞かせの他、クイズや工作も楽しみながら行うことができました。2回目は韓国語版を8月に予定していましたが、コロナの影響により延期いたしました。11月20日予定です。韓国語の講師は、商工観光課の女性職員にお願いしております。

次に児童生徒向けです。例年多くの子どもたちが楽しみにしている夏のイベント「子どもフェスタ」は中止とし、人数制限をかけて「ピエロショー」の開催を予定しておりましたが、こちらも延期となりました。年明けに開催できるよう現在計画中です。また、子ども司書講座につきましては、小学校3年生から6年生を対象に11名の申し込みを受けました。江見小学校や西条小学校、東条小学校、鴨川小学校など各小学校の児童が参加し、図書館の役割や楽しさを学びました。この講座は図書館に親しんでもらい、読書の楽しさを伝える講座として、子ども向け行事の要と考えています。全講座に参加すると子ども司書として認定証を授与し、認

定後には図書館のカウンターで貸出や本の片づけのお手伝いをするなど、その後も繋がっていきます。夏休みには2人の子ども司書が手伝いに来てくれました。今年度の子ども司書は10期生となります。

次に、小・中学校への配本図書です。今年度から「牟田口文庫」から「かもとしよ」に名称を変更しました。小学校へは児童数により異なりますが、100冊から200冊を各学校の図書室へお届けしています。中学校へは各クラスに40冊ずつ配本し活用していただいております。毎年学校での図書費が少なく、課題図書位しか買えないと聞いています。そのため学校の先生方からは本事業はとて有難く、有意義に活用しているとの声も届いております。今後も鴨川市の児童生徒のために、魅力ある図書を配本できるよう、予算要望に努めていきたいと考えています。

次に成人向け行事として、本のリサイクル市です。昨年度と同様に整理券を配布し、時間や人数の制限を設けながら実施する予定です。整理券は150名分用意し、明日13日から配布いたします。本の福袋についてですが、図書館員がテーマごとに選んだ本を3冊ずつ袋に入れて貸出をします。普段自分では選ばないような本が入っているため、色々なジャンルの本に興味を広げて欲しいとの願いから実施しているものです。現在職員全員で選書しております。

文学講座につきましては、今年度は「方丈記」を開催いたしました。昨年度までに3回に分け伊勢物語を実施し、鴨川にいなながらも大学教授の講義を受けられるという事で、受講者はいつも楽しみにされています。来年度もぜひ参加したいという高齢の方もおり、とても熱心に受講される方が多い講座です。以上が中間報告となります。

(庄司会長)

事務局の説明が終わりました。委員の皆さん、ご質問等ございましたら挙手をお願いいたします。特に無いようでしたら、採決をとります。図書館事業中間報告について、承認いただける方は挙手をお願いします。

(全委員挙手)

(庄司会長)

委員全員の挙手を認めます。図書館事業の中間報告について承認されました。

つづきまして、議題2 図書館運営の現状と課題について、事務局より説明をお願いします。

(事務局 蒔苗館長)

今年度の図書館の現状と課題について説明させていただきます。今年度はコロナなどが無かった年と比べると、来館者、貸出冊数など全てが減少傾向にあります。イベントも人数制限や、時間制限をしての実施をしていましたが、感染拡大により緊急事態宣言が発令されたため、8月25日から9月21日まで休館しました。市内の社会教育施設を一律休館とした中、図書館だけ少し早くに開館することとなりました。新型コロナにより生活様式が変わっているためか、図書館の利用者も減っているのが現状です。この休館の間に図書館は蔵書点検を行いました。例年は2月下旬から3月上旬にかけて休館し、10万冊の本を全て確認するため膨

大な仕事量になります。コロナ禍においても、この半年間に良かった点は3点あります。

一つ目はホームページの更新です。お手元に資料を添付していますので、ご覧下さい。今まで図書館の情報が見つけづらいとの指摘が、利用者からありました。今年度経営企画課でホームページの更新を行い、本の検索アイコンが最初のページにあり、図書館がすぐに見える事で利便性が高まったと思います。また、無料で閲覧できる電子図書の青空文庫のリンクを貼って利用できるようにしました。二つ目は玄関の非接触型体温計の設置です。今まではカウンターの職員が、来館者が1人ある度に玄関に向かい大変でした。しかし簡易的ではありますが、非接触型の体温計を置く事で少し楽になり、利用者からも大変好評です。

三つ目は、分かりやすい書架の工夫です。鴨川市の特色である「観光・医療・子育て」に関する資料の配置を工夫し、書棚の有効活用を図ります。今年度は医療のスペースを、来年度は子育てのスペース、再来年度は観光のスペースと、3年計画で実施していきます。

次に今後の課題についてです。図書購入費の確保があげられます。650万、550万、500万と毎年少しずつ購入費が少なくなっています。財政が厳しい中で、減額しての予算要望ではありましたが、市民サービスや学校との連携の視点でも、予算減額には限界があるため、今後も精査した上で強く要望していきたいと思えます。

次に施設の維持管理についてです。館内の照明のLED化を進めていきます。次年度は15箇所を交換するための予算を要望していますが、いずれ全ての照明のLED化を図っていきます。また、4箇所のブラインドと学習スペースの床の修繕の予算要望をしています。

次に家庭読書につきましては、「鴨川市子どもの読書推進活動計画」に基づき、家庭での読書の推進を図っています。幼稚園児で週30分程度、中学生1年で週60分程度など、時間の目安を設定しています。先日どのように「家読」を進めていったらよいかの話をして欲しいとの要望があり、江見子ども園の保護者に向けて実施してきました。要望があればおはなしに伺うことも可能です。

最後に自己評価について、図書館協議会から意見を伺いながらまとめていきます。以上です。

(庄司会長)

事務局からの説明が終わりました。質問などございましたら挙手願います。

(猪瀬委員)

私は本が好きで、図書館は良く利用させていただいています。9月の緊急事態宣言に伴い、半月ほど休館になりましたがその理由をお聞かせください。公民館等も同時に閉館になっていましたが、図書館は立場が違うので、休館という判断はおかしいと思ったのでここで伺います。

(事務局 石川課長)

鴨川市の公共施設は合わせて統一した対応が必要という判断から休館となりました。それは鴨川市が感染の脅威から市民を守るための判断とご理解ください。図書館は感染率は低いと言われている施設ですが、休館により市民にご迷惑をおかけしたことは申し訳ありません。しかし現状を踏まえ他の施設と図書館は質が違うため、図書館だけ早めに閉館させていただく判断となりました。

(事務局 蒔苗館長)

石川課長が話したとおりですが、一つ付け足すとすれば、県内及び近隣の県において休館した館は数件です。安房地域の感染者の数はぐっと上がっていた時期であり、市の判断としては人流を防ぎ病床率を抑えようという考えもあったと思います。

(猪瀬委員)

逼迫した医療体制については数字が分からないのでなんとも言えません。しかし、市としての事情があることは理解できます。私が中学校教員のため、子どもの視点で見ると、今まさに図書館を利用したいという時期だったのではないかと思います。

どこにも行けない状況に読書を勧めても図書館が利用できない現状を、納得できずにいました。休館してもネット予約やリクエストを受け、玄関先で貸出する事はできたのではないかと今も思っています。文化の中心である図書館なので、今後は何かの手段を考えていただきたいと思います。

(事務局 蒔苗館長)

まさにその通りだと思います。休館したとしても予約受取りや代替えの利用方法があったのではないかという事だと思います。私たちが同じ考えでした。全て塞いだら市民サービスは全てストップしてしまうので、市の経営会議で諮っていただき、他の施設より一週間前倒しで閉館しました。

貴重なご意見ありがとうございます。

(庄司会長)

ご意見ができましたが、コロナ感染が収束を迎えるまでまだかかりそうで、今後の感染状況により様々な対応がまだ必要だと思います。今後も市として、あるいは図書館としての判断は難しいと思います。石川課長何かありますか。

(事務局 石川課長)

コロナの生活はまだ続く可能性があります。今回の事例や図書館の感染対策の徹底を考えながら、判断していかなければならないと強く感じています。

(庄司会長)

子ども達から図書館が閉館していて困ったとの声は聞いていました。市として例外をどうしていくかなど、課題は多いと思います。

(事務局 蒔苗館長)

国の基準では、コロナ感染者が増えても図書館や博物館は休館するまでもないとの見解です。しかし、休館するかの判断は各自治体に委ねられているため、難しいと感じます。地域の感染状況をみれば開館していることは危険と感じたり、感染者が沢山いるのに閉館しない事を非難したり、一概に開館や閉館と極端な判断は出しづらい所です。閉館するにしろしないにしろ、教育委員会で協議してできるサービスを極力実施していきたいと思っています。

(庄司会長)

貴重な意見、細かな回答ありがとうございます。

学校の図書室が充実していれば、このような心配はないと思います。でも学校の図書費は昔から少なく、図書室の充実にはほど遠いと感じています。図書館でも図書費は削られてしまう対象ですから、予算獲得は大変な苦労があるでしょう。

(事務局 蒔苗館長)

そうですね。学校の図書室が充実していれば、図書館からの配本事業も必要ないのですが。

(庄司会長)

学校では一年でどのくらいの図書が購入できるのですか。

(渡邊委員)

小学校では10万円位だと思います。半分が課題図書で後少し購入したら終わりになってしまいます。中学校はもう少し多いようですが、小学校の方が生徒数は多いのになぜ予算は少ないのだろうと常々思っています。南房総市よりもずっと少なく、今年度は鴨川教習所から有志で集めたお金の寄付がありとても有難かったです。いつも子ども達のためにと寄付していたそうですが、本当に子ども達のために使われているのか分からなかったので、直接学校へ寄付することにしたそうです。教科書に掲載された本を中心に購入し、子ども達も大変喜んでいました。

(川名委員)

学校で課題図書はどうしても必要なものなのですか。小学校の読書ボランティアに参加していたとき、図書室に同じ課題図書が何冊もあって、何年かすると子ども達も読まなくなってしまうので、こんなに必要なのか疑問でした。

(庄司会長)

読書感想文の募集を国で推奨しているため、学校としてはやらなければならないというのが現状だと思います。

(渡邊委員)

確かに学校では出さなければならない現状にあります。しかし、与えられた予算の中で何を買ったら良いかはとても迷います。人気があるからと言って、今時の本ばかりでは良くないだろう、課題図書は推薦できる良質な本なので、あっても良いかと思っています。図書館では貸出期間が1週間で、多くの子どもたちが利用するので予約待ちです。ゆっくり読んで感想文を書くとなると困る子どもも増えるので、学校でも用意はすべきと思っています。学校では図書基準があり古い本でも捨てられず、新しい本を購入しても埋もれてしまいます。表示や展示で古い本も読んでもらう工夫はしているのですが。以前図書館の児童室で本を選んでいたら、観光客らしき家族が来て本を見ていました。地元にもこんな図書館があつたら良いのにと、良い図書

館だねと感心していたことを思い出しました。

(庄司会長)

ちよつと誇らしい気がしますね。良い図書館ですので、どんどん活用していきたいと思います。では他に質問やご意見はありますか。なければ議題2の図書館運営の現状と課題について、承認いただける方は挙手願います。

(委員全員 挙手)

全委員の挙手を認めます。議題2につきましては承認されました。それでは、その他となります。何か連絡事項等ありますでしょうか。

(渡邊委員)

生涯読書推進計画について、第2次の作成はいつ頃を考えるのか、また、今後の活用についてどのようにしていくのか伺います。

実は第1次の作成に参加しました。あんなに頑張って作ったのに、今では存在も知らないという教諭も多いです。今後の活用についてどう考えていますか。

(事務局 蒔苗館長)

当館でも今あまり活用されていないことを残念に思っています。当時は各学年に沿って作りました、参考にした教科書も違う、掲載したアンケートも実態と違う、であれば時期を見て更新をしなければならないと考えています。しかし、計画は図書館が作るのではなく、教育委員会で作成するものです。そこには誰にどのような形で依頼するのか、また、どの位のスケジュールで予算はどのくらいでと色々と準備していかなければならないと思います。図書館はそこに全力で支援していくつもりです。後は生涯学習課としてどう取り組むのかを決めるだけと考えています。

(庄司会長)

石川生涯学習課長、どうお考えですか。

(事務局 石川課長)

生涯読書推進計画は10年前の情報であり、内容が今に合っていないという事は認識しています。今の状況にあった内容に変えていくには、各学校の先生方に協力いただきながら進めるべきであるとも考えます。内容を具体化し、しかるべき時期に作成をしていきたいと思っておりますが、事務量もかなり多く、ご負担をお掛けする事にもなるので、慎重に進めていきたいと考えています。

(庄司会長)

ありがとうございました。小学校や中学校、更にこども園などとも連携しながら事業を進めるのは大変な苦労だと思います。そして生涯つづく読書生活の計画までも立てるとは。事務量

もかなり多くなると思われませんが、そんな皆さんの努力が報われるようになるようお願いいたします。

では他に何かありますか。なければこれで議題については終了となりますので、進行を事務局にお返します。委員の皆様、ご協力ありがとうございました。

(事務局 洲永)

庄司会長ありがとうございました。今後は事務局で引き継がさせていただきます。

それでは、その他になります。図書館から一つご説明させていただきます。

本日の資料として配布しましたチラシについて、図書案内は昨年度の協議会で行事や休館日の周知についてのご指摘がありましたので、案内の下にカレンダーを掲載し、多くの方に見ていただくよう改善をしました。また、「世界の絵本を楽しもう」「本のリサイクル市」等のチラシをつけましたが、先程報告の中で説明をしましたので、省略させていただきます。以上です。

皆様の方から何かご連絡等ございませんか。

(事務局 洲永)

本日はお忙しい中、図書館協議会にご出席賜り誠にありがとうございました。

いただいた貴重なご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。

それでは、令和3年度第2回鴨川市立図書館協議会を終了させていただきます。

長時間ありがとうございました。

鴨川市附属機関等の会議公開に関する実施要領第7条第3項の規定により、会議録の確認をします。

令和 4年 3月 30日

署名人

鴨川市立図書館協議会委員

渡邊 真澄